



「DO YOU KYOTO?」ロゴマーク

月刊

あじenda 2月

2010年

月



京のアジェンダ21フォーラム事務所

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町13

京エコロジーセンター2F 活動支援室内

TEL: 075-647-3535

FAX: 075-647-3536

E-mail: ma21f@mbbox.kyoto-inet.or.jp

開室時間: 8時45分～17時30分(木・日休室)

アクセス: 京阪電車「藤森」西へ徒歩5分

地下鉄・近鉄「竹田」東へ徒歩13分

市バス・京阪バス「青少年科学センター前」南へすぐ

みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信

月刊あじendaは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です

幹事リレーコラム

温室効果ガス大幅削減に向けて、フォーラムはどう取り組むか

フォーラムでは 2009 年度事業として、温室効果ガス大幅削減（京都市の環境モデル都市行動計画では 2030 年までに 90 年比 40%削減、2050 年までに 60%削減）実現に向けた「中長期展望の策定と、そのための具体的な方策の検討」プロジェクトを、フォーラム幹事の参加のもと実施しています。フォーラム設立 11 年目を迎えた今、社会の地球温暖化防止についての意識が高まり、各主体による取組も活発にされるようになってきています。国も 2050 年までに 90 年比で温室効果ガス 80%削減目標を打ち出しました。このような社会の状況に合わせて、フォーラムのあり方、活動内容や方法も見直していく必要があります。

そこで、このような背景を踏まえて、プロジェクトにご参加いただいている幹事に、望ましい京都の未来像を目指すに当たってのフォーラムの今後の役割、あり方などについて、寄稿をお願いしました。第3回目は、浅岡美恵フォーラム幹事です。

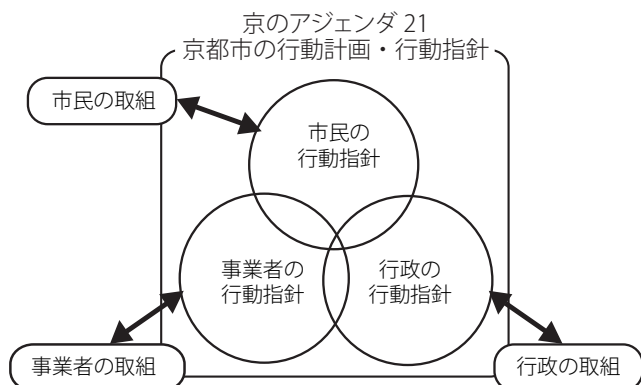
【イラスト：京のアジェンダ 21 フォーラム入会案内「京のアジェンダ 21 フォーラムが目指す京都!」より】



第3回 アジェンダフォーラムの今後に向けて

京のアジェンダ 21 フォーラム 幹事 浅岡美恵（弁護士）

京都にアジェンダフォーラムが発足したのは、京都で温暖化防止の国連会議 COP3 が開かれる直前である。1992 年の地球サミット以来、地球規模で、持続可能な地域の将来像を市民・事業者と行政が協働してつくりあげていくプロセスが動き出していた。その国際版の大きなうねりが COP3 京都会議であり、地域版として京都でも、リオデジャネイロでの地球サミットの成果を取り入れようとの議論が出てきた。「京のアジェンダ 21」を策定し、その実現の場の一つとしてアジェンダフォーラムも設けられた。当時としては、関係者はその先進性を自負していた。



このように、アジェンダフォーラムは、京都会議の前に、形だけの協働や参加の機会ではなく、本当の市民参加の機会の期待も込めて真摯な議論がなされ、そこから K E S の仕組みや家電製品の省エネルギーも生まれた。今では当たり前だが、それなりの生みの苦しみもあった。

■ フォーラムのこれまでの主な活動



- ・上：現在の「統一省エネルギーラベル」制度の前身となる家電製品への「省エネルギーラベル」表示制度の構築
- ・右：KES（KES・環境マネジメントシステム・スタンダード）の創設



もともと、「アジェンダ 21」は 21 世紀に向けての課題を設定しようというものだった。当時、これまでのエネルギー多消費のまちや暮らし、生産活動とは異なる社会が求められていることは理解され、既定の方針や政策では対応できず、政策決定のプロセスも大きく変わる必要があるとの認識では出発した。だが、それはまだ、十分に 21 世紀を見通したものではなかった。京都のアジェンダ 21 についてもいえることだ。

それから 20 年近く経過し、この間、国際レベルでは、持続可能な低炭素経済社会を構築するために、先進国は 2050 年までに 80%以上の削減が目標となってきている。地域においてもそうした低炭素の持続可能な地域づくりが求められる。COP15 は途中経過に終わったが、流れが変わることはない。

京都でも、設立当初はアジェンダの位置づけも京都市環境局の片隅のものであり、現場のストレスも多かった。今や、国連の気候変動会議 C O P 15 は 120 ヶ国から国家首脳が集まるトップレベル会議となったように、京都においてもトップアジェンダに位置づけられつつある。世界でも国でも地方でも、21 世紀の環境アジェンダを再設定中といっても過言でない。本来、リオのサミットで求められていたローカルアジェンダがようやく見えてきたともいえるのかも知れない。

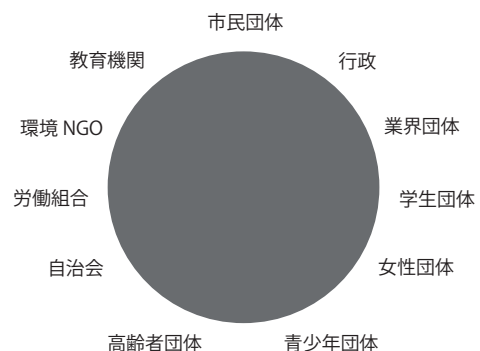
そのプロセスに、京都で、市民、事業者、地域のさまざまな主体が十分に議論に参加できているだろうか。それなりに新たな関与が生まれているが、



【COP15 会議の様子。120 ヶ国から国家首脳が集まるトップレベル会議となった。
(IISD web^① -ジ^② URL <http://www.iisd.ca/climate/cop15/> より)】

どのような場や機能が今の課題にふさわしいのかが求められているのではないかな。

市民参加の必要性はますます高まることはいうまでもない。アジェンダフォーラムがそこにどう関わっていくべきなのか、また、できるのだろうか。低炭素の持続可能な京都に求められるもの、創出していくべき課題を議論し、そのなかで何を今、とりあげようとするのか。そうした議論がまず、必要となっている。



【京のアジェンダ 21 フォーラムの組織のイメージとして、「京のアジェンダ 21」に描かれた図】

カレンダー

Agenda Forum

2 ～ 3 月の予定



家庭の省エネ相談所

3 月 16 日 (火) 南区役所【10:00 ～ 14:00】

今年度最後の省エネ相談所です!ご家庭の省エネ度、省エネ術を知りたい方は是非この機会にお立ち寄りください。



京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト

* 交通環境学習チーム 出前環境学習

2 月 5 日 (金) 京都市立朱雀第四小学校

2 月 22 日 (月) 京都市立南太秦小学校

* 自然エネルギー環境学習チーム 出前環境学習

2 月 25 日 (木) 京都市立北醍醐小学校

* 水源の森づくりチーム 森林保全活動

3 月 6 日 (土) 京都市右京区

4月30日まで
バスと電車でecoグルメ!

実施中!!

京都観光でエコでお得な特別企画 バスと電車でe c oグルメ! 2010年1月5日～4月30日

配布協力団体等、多くの団体にご協力いただいています。その中で、キャンペーンの広報にご協力くださっている京都市交通局の萱島慎一郎さんに、交通事業者から見た、キャンペーンの意義等について寄稿していただきました。

エコな公共交通でお出かけください。 「バスと電車でe c oグルメ!」ただ今実施中!

日頃は市バス・地下鉄をご利用いただき、ありがとうございます。
現在「バスと電車でe c oグルメ」のキャンペーンが展開されています。

本キャンペーンは、クルマと比較して、二酸化炭素の排出量が少ないバス・鉄道の利用促進を図るもので、交通局としても、一人でも多くのお客様に「e c oグルメ」をご利用いただくため、地下鉄各駅へのポスター掲出やチラシの配架等を行っています。地下鉄をご利用の際にご覧いただければ幸いです。

さらに、本市が関西のバス・鉄道社局で構成するスルッとKANSAIに働き掛け、関西一円の鉄道・バスが2日又は3日間乗り放題になる「スルッとKANSAI 2day・3dayチケット(全国版)」の案内リーフレットで本キャンペーンが優待特典の目玉として大きく取り上げられ、関西の枠を越えて全国的に「e c oグルメ」を知っていただくこととなりました。

日常生活においてクルマは確かに便利ですが、一方で交通渋滞や地球温暖化、さらには運動不足の要因となるなど、考えなければいけない問題があることも事実です。

「バスと電車でe c oグルメ」をきっかけに、バス・鉄道の持つ便利さや魅力を考えていただき、おトクにお食事やお酒をお楽しみください!

地球温暖化防止のため、市民や観光客の皆さんに、マイカーではなく公共交通を利用してもらい、また飲食店には環境配慮の取組をしていただくために、今年度第二期の「バスと電車でe c oグルメ!」キャンペーンを実施中です。

このキャンペーンでは、交通事業者、飲食店、



【「おふたいむ」2月号で紹介されました。
京都市交通局が毎月1回発行するリーフレットで、市バス車内、地下鉄駅構内、市バス・地下鉄案内所などで配布】



京都市交通局 企画総務部企画課 萱島慎一郎



左：ポスター
京都市営地下鉄各駅に掲示中

右：トラフィカ京カード
2月10日(水)から主要駅(国際会館、北大路、四條、京都、竹田、山科、三条京阪、烏丸御池)にて販売開始予定

学校区を中心とした環境活動を広げる第一歩に 地域も参加した「ASIMO の環境授業」

日時：2010 年 1 月 26 日（火）2 回実施（各回 40 分）

会場：京都市立朱雀第四小学校（京都市中京区）、児童 323 名

当フォーラムでは中小事業者の環境 CSR の一環として、学校区を中心とした地域で、事業者・学校・住民などの各主体が協力して環境問題を解決する仕組みづくりを目指す、「京都環境コミュニティ活動（KESC）プロジェクト」を実施しています。現在、4 つのチームに複数の事業者が参加し、小学校への出前環境学習などの活動を行っています。

この度、「交通環境学習チーム（以下、チーム）」に参加の株式会社ホンダカーズ京都が、Honda の「社会活動地域貢献大賞」を受賞されました。株式会社ホンダカーズ京都は、2007 年度よりチームの活動に参加し、今年度はチームリーダーを務め、活動に参加する営業拠点と社員数を増やすなど、積極的に KESC 活動を行ってきたことが高く評価されての受賞となりました。

今回、その賞典として、2007 年にチームとして初めて環境学習を行った京都市立朱雀第四小学校にて、Honda のヒューマノイドロボット「ASIMO」を用いた「ASIMO の環境授業」を実施しました。

当日は、進行役の Honda スタッフから「地球の気温はこの 100 年で何度上昇したでしょう?」と言った環境問題に関するクイズが出され、ASIMO と児童が答えました。また、「レジ袋をもらわない」などのエコな取組を考えるワークショップでは、チームのメンバーも児童のグループに参加し、一緒に考えました。一番多くのアイデアを考えたグループは ASIMO と握手ができるサプライズが用意され大いに盛り上がりしました。

後半のパートではホンダカーズ京都のスタッフが、これまでの小学校への出前授業の様子など地域での活動報告と、出前学習プログラムの一部を行いました。

授業の見学には、地域住民や保護者の方々も多数参加いただきました。校区を中心とした環境活動の広がりを目指す KESC の活動目標に一步步近づいています。当フォーラムでは、引き続き住民、事業者、学校が連携して環境の取組を行う「環境コミュニティ活動」の仕組み作りを行い、事業者の CSR の実効性を高めると共に、地域の環境活動の一環として認知、評価され地域貢献としての役目を果たすことができるよう活動していきます。皆さんもぜひご参加ください。2 ページ目の予定表に今後の活動予定を掲載しています。一度見学にお越しください。



【ASIMO】



【環境問題に関するクイズに答える児童たち】



【紹介される KESC 参加メンバー】



【交通環境学習チーム】

テーマ 地域の人たちと『くるま』についてかんがえよう!

参加事業者 株式会社エコロ21、株式会社ホンダカーズ京都、
有限会社村田堂、京都市環境政策局環境企画部環境管理課、
株式会社東映京都スタジオ（東映太秦映画村）

事務局短信

毎朝出勤時に渡る四条大橋からカモの親子やユリカモメが鴨川にいるのが見えます。都市部でも野鳥や昆虫がすめる環境を守りたいものです。（西本雅則）／ドキュメンタリー映画「オーシャンズ」を見ました。集団で狩をするクジラや、大海原をジャンプしながら猛スピードで泳ぐイルカの姿は圧巻。見た人は他の生物への畏敬の念を感じざるを得ないでしょう。関心のある方はぜひ映画館へ。（小山直美）／寒いと外に出るのも億劫になりますが、薪ストーブで暖を取っている我が家はそうもいきません。大きな材にチェーンソーを入れ、斧でストーブに入る大きさに割った物を棚に並べ乾かします。その薪を家に持ち入れ着火。この作業でまず暖まるのも薪ストーブの醍醐味です。（奥井祐子）／日本の伝統行事が各家庭において失われつつあるようで寂しいです。2月3日は節分、昔はおそらくこの家庭でも豆まきをやったもので、私の子供時代も、”鬼は外、福は内!” と父は真剣な顔で豆を放ったものですが、そんな父をすごく勇ましく思うと共に、子供ながらに自分も鬼をやっつけなければと身を引き締めたことが懐かしいです。そこで一句…「鬼は外」家族ひとつになりにけり」（小西賢人）